

熊谷ロータリークラブ会報

KUMAGAYA ROTARY CLUB BULLETIN

事務局

〒360-0041

熊谷市宮町2-146 飯島ビル5階

T E L 048-577-3377

F A X 048-526-3164

例会場

金曜日 12:30~13:30

熊谷市宮町2-43 熊谷東京海上日動ビル5階

発行者 会長 西山秀木
幹事 田野隆広

Rotary
District 2570

公共イメージ委員会

委員長	溝田義信
委員田所勤	
委員大澤孝至	
委員松崎由賀	
委員美濃昌輝	
委員齋藤邦裕	



The President's Call
for Action 2024-2025

THE MAGIC
OF ROTARY

司会 佐久間文彦 副SAA

点鐘 西山秀木 会長

ソング 四つのテスト

会長の時間

西山秀木 会長

こんにちは、今年のマスターズは残念でした。現在松山君は世界ランキンギング6位ですので、いい成績を残してくれると思っていましたが。ただお陰様で寝不足にならずに済み、せめてありがたいと思い自分自身を慰めることにしています。ゴルフの4大トーナメントは当初は全英オープン、全米オープン、全米アマチュア選手権と、全英アマチュア選手権でした。その後プロゴルフの隆盛があり1960年ごろに現在のマスターズと、全米オープン、全米プロ、全英オープンの4つになったそうです。全英オープンの名前には思い出があります。私は1991年、今よりちょうど35年前、湾岸戦争の時にイギリスに1年間留学をしたことがあります。お世話になった先生は私の恩師がとても仲の良かった先生でゴルフが大好きな方です。手術室で休憩の合間にテレビでちょうど全英オープンが中継されていたため、私がブリティッシュオープンですねと言ったら彼はno,no,noと言われたのです、ブリティッシュオープンじゃないよー ジ・オープンだというのです。私は全英オープンだから当たり前のようにブリティッシュオープンと思っていたのですが、さすがゴルフ発祥の地の矜持ですね、国名などで形容されないジ・オープンなんですね。全英オープンのように日本語をそのまま受け入れてしまうと元の言葉と違うものになってしまうことがあるように、日本語でロータリーのことを理解しようとすると勘違いしてしまったことなどについて話したいと思います。



項目としては、ロータリーの目的、四つのテスト、奉仕・サービスそして親睦です。

ロータリーの目的

ロータリーの目的はThe Object of Rotaryですが、1951年に複数形であるThe Objects of Rotaryが単数形であるThe Object of Rotaryになったものです。日本語訳は変わらずロータリーの綱領ですが、今まで複数であった目的が単数になることによって目的が一つになり、4つの項目は本文である目的の具体的説明事項になりました。これはとても大きな変更ですが日本語ですと何も変わっていないことになってしまいますので、日本語だけでロータリーの言葉を判断することが危険であることを示唆していると思います。また、ロータリーの目的の日本語訳には誤った解釈をしてしまう点があることを個人的には感じております。この文をロータリーと関連のない方にみていただき、“これ”とは何を意味すると思うか聞いてみたところ、ある人は“これ”は事業のことですかと言われました。私は“これ”的前に点があるためそのような解釈になってしまふと感じています。2012年ロータリー研究会でロータリーの目的の邦訳が作られたときにアンケート調査が行われ提出された代表的な文が3つ残っています。3つとも“これ”的前に点はな

く特に山片氏、田中氏の訳では“奉仕理念を推奨し育成する”となっており、すっきりした文章になっています。どうして現在使用されている文になっているのか個人的には理解に苦しむところです。

四つのテスト

四つのテストの日本語訳はロータリー創立50周年事業の際に公募され当選した東京RC会員、毎日新聞社社長を務めた本田親男氏によるものです。

真実かどうか (Is it the truth?)

みんなに公平か (Is it fair to all concerned?)

好意と友情を深めるか (Will it build goodwill and better friendship?)

みんなのためになるかどうか (Will it be beneficial to all concerned?)

この中でconcernedという単語が入っているものが2つあります。

みんなに公平かと、みんなのためになるかどうかです。“All concerned”は“All”だけが訳されており、肝心の“concerned”が省略されています。四つのテストは『商取引』の基準から始まった文章ですから、このconcernedは、関わりのある人、つまり利害関係者（取引先）のことを意味することは明白です。従ってこのフレーズは『全ての利害関係者（取引先）に対して公正か』ということを意味していることになりますので日本語訳と意味合いが違ってしまいます。もう一つのconcernedが入っている文がみんなのためになるかどうか (Will it be beneficial to all concerned ?) です。この訳には問題点が2つあり、1つはconcernedが訳から抜けていること、もう一つはbenefitという儲けを表す言葉を別の意味になるように訳していることです。

“Benefit”は「儲け」そのものを表す言葉ですが、売り手だけが儲かったり買い手だけが得をしたのでは公正な取引とは言えませんので、その商取引によってすべての取引先が適正な利潤を得るかどうかが大事なのだといっていると思われます。このように原文の意味と日本語訳が異なっているので、どのように解釈するかは個々のロータリアンが判断するものではないかと考えておりますがいかがでしょうか。

Service・奉仕

日本語で奉仕と訳されているserve、serviceが何を意味しているかがとても難しいと思われます。ご存じのようにこの言葉はロータリーの標語である超我の奉仕Service above selfやもっともよく奉仕するものもっとも多く報いられるOne Profits most who serves bestや奉仕の理想Ideal of Serviceに使われている基本中の基本の言葉ですが、カタカナでサービスというと日本語で値引き、おまけ、無料、などの意味があるため本来のロータリーのサービスとかけ離れた意味になってしまいます。米山梅吉翁の記念館のホームページには、サービスという言葉を日本語に訳することが難しいと言われたと記載されています。シェルドンが確立した概念ではserviceとは正しい質、正しい量、正しい行動様式としており、具体的には高い品質、適正な価格、経営者・従業員の適切な接客態度、公正な広告などを意味し現代企業が顧客の信頼を得るために必須のサービスのことを意味すると考えられます。このことについては第2840地区の本田博己パストガバナーは、serviceとは社会に役立つ価値を提供すること、世のため人のために尽くすことであるという解釈を提唱され、第2660地区が発行している“ロータリーの心と実践”には以下の記載があります。“service”という言葉で英語圏の人が頭に浮かべる概念と同じ概念を、我々が「奉仕」という言葉で頭に浮かべることができればよいわけです。そのためにはserviceの概念をしっかりと理解する必要があります。Serviceの動詞形はserveで、どういう動作を称してserveというかと云いますと、「人とか地域にニーズ（needs）があり、そのニーズを満たして行こうとする行為」をserveというのです。このようにサービスという言葉が何を意味しているかを理解したうえでその訳語である奉仕を使用すればいいのではないかと考えています。

Fellowship・親睦

親睦という言葉ですがもともとFellowshipを日本語に訳した言葉です。Fellowshipを和訳する

と親睦が出てくるのですが親睦を英訳するとFellowshipは出てこずFriendshipという言葉が出てきます。つまり親睦という日本語はロータリーの親睦と意味が違うことになります。Fellowshipの親睦は目的や理念が同じもの同士で親しみあうことであり単に友情を温めるFrindshipとは意味が違うことも頭に置かなければならない大事なポイントと考えられます。

ロータリーの目的

The Object of Rotary is to encourage and foster the ideal of service as a basis of worthy enterprise and, in particular to encourage and foster:

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。
具体的には、次の各項を奨励することにある

The Object of Rotary

The Object of Rotary is to encourage and foster the ideal of service as a basis of worthy enterprise and, in particular, to encourage and foster:

- First** The development of acquaintance as an opportunity for service;
- Second** High ethical standards in business and professions; the recognition of the worthiness of all useful occupations; and the dignifying of each Rotarian's occupation as an opportunity to serve society;
- Third** The application of the ideal of service in each Rotarian's personal, business, and community life;
- Fourth** The advancement of international understanding, goodwill, and peace through a world fellowship of business and professional persons united in the ideal of service.

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、価値ある企業活動の基礎として奉仕理念を推奨し育成すること、詳しくは、次の事項を奨励し育成することである。
東大阪みどりRC 山片重房氏

ロータリーの目的は、有益な企業活動の基本として、奉仕理念を奨励し育成することである。その詳細は以下の項目を奨励し育成することである。
2680地区 田中毅PDG

ロータリーの目的は、価値ある企業活動の根本に奉仕理念を置きこれを推奨し育成すること、詳しくは、次の事項を奨励育成することである。
教賀RC 刀根莊兵衛氏

四つのテスト the Four-Way Test

真実かどうか	Is it the truth?
みんなに公平か	Is it fair to all concerned?
好意と友情を深めるか	Will it build goodwill and better friendship?
みんなのためになるかどうか	Will it be beneficial to all concerned?

東京RC会員、毎日新聞社社長を務めた本田親男氏

<日本語訳（奉仕の人米山梅吉から）>

早いところから、ロータリーの文献、資料の翻訳が話題に上るようになつた。これなどは、日本化というより、どのように日本語訳をするかである。

米山は、妻はみんな英語が出来る人のだから、無理に日本語訳することはないでないかといふ考え方であった。東京クラブではもちろんそうであったらしく、横浜クラブなどは、昭和2年の創立であるが、例会も、会報も皆英語であったという。

しかし、ロータリーの拡大とともに、クラブの数も増え、会員の数も増えてくるとそろそろばかりついでいられなくなつた。それ以上に、会員の民族もロータリーの会員に参加することもあるし、一般に対してしてもロータリーを押し込めなければならない。そんなことで、会員から、諸資料、走紙、細則などの日本語訳の要請は強く、地区大会や地区協議会などで、このようなことが議題となつたり、要望として、毎回声が上がつた。

そんなことから、米山は、翻訳の必要、日本語化の必要を認めるようになった。

第1回地区年次大会（昭4.04）では、「翻訳も種々試みてみた。東京に委員を置いて、他クラブの同意を求めるにしたのである。とにかく難しい。第一サーヴィスという言葉これが實に難しい。だから英語のままの方がよいと思われる。」というようなことであった。

第7回地区大会（昭10.05）では、「いろいろうれけれど、今ほとんど日本語でやっている、ある専門的な言葉が翻訳できないそのまま使っているだけである。なまじ翻訳すると、かえって混乱が生ずる。そのまま使って、そのことで日本の精神がそこなわれるわけでもない。とにかく怠がなくて、良い翻訳を出すようにしよう。」といふ。

FellowshipとFriendshipの違い（とある辞書から）

“fellowship”は、「志を同じくする仲間、仲間意識、連帯感」という意味です。これは、チームや組織、団体など、目的や理念が同じ者同士の間柄で使われます。

“friendship”は、「親しみ合って仲よくすること、友情、親睦」という意味です。

来客・来訪ロータリアン 小林健郎 副会長

熊谷市消防長 クジライヒデアキ
警防課課長 鮫井英明 様
警防課副課長 オオカワラゴウ
大河原剛 様
尾野聰 様



幹事報告

田野隆広 幹事

1. 熊谷警察官友の会令和7年度定時総会開催のご案内

日 時：2025年5月26日（月）17:30～

場 所：熊谷スポーツホテルPARKWING

対象者：会長

出席報告

守田征弘 出席推進委員

例会日	会員総数	欠席者	出席者
4月18日	96	45 届出 16 無届 29	51
事前 MU	出席率%	修正出席率	
10	66.3%	月 日 変更なし	

**卓話**

熊谷市消防長	鯨井英明	様
警防課課長	大河原剛	様
警防課副課長	尾野聰	様

「熊谷市の消防・救急の現状について」**熊谷市消防本部の救急救命講座**

- 熊谷市消防本部の現状について【鯨井消防長】
昨年の火災出動と救急件数の増加について報告
- 救急救命士による実演説明【尾野指導救命士】
AEDは心臓が止まっている人に使用する機器
心停止の定義について説明
AEDは心臓の異常を検知して電気ショックを与える
AED使用の機会は限られているが、効果的な救命手段
AEDの使い方はガイダンス通りに、簡単で誰でも使用可能

**AEDの使用方法と注意点**

- AEDは簡単に使える機械で、電源を入れれば指示を出してくれる。
- AEDの使用手順は、パッドを装着し、コネクタを接続する。
- 生きている人には作動しないので安心
- ネックレスはパッド間に入らないようにずらす。
- 濡れている部分は出来るだけ拭く。
- ペースメーカーや体に貼られている薬の影響を考慮する。
- 胸毛がAEDの効果に影響を与えることはないが、密着度が重要である。

心臓マッサージ（胸骨圧迫）の重要性と実演

- ・心臓がポンプの役目を果たし、全身に酸素や栄養素を巡らせることが重要である
- ・心臓が止まった場合、心臓を押してあげることが大切である
- ・心臓マッサージの押す場所は胸の真ん中である
- ・胸の真ん中には硬い骨があり、心臓はその下に位置する
- ・心臓を押す深さは5センチから6センチが理想である
- ・押すリズムは1分間に100回から120回が望ましい
- ・心臓マッサージは救急車が来るまで続けるべきである
- ・心臓マッサージの疲れない押し方として、ゴリラの動きを例に挙げている

その他

- ・心停止の患者を蘇生した事例
諦めないことが重要
- ・救急車の平均到着時間は約10分だが様々な要因により変わる

熱中症対策と声掛けの重要性

- ・熱中症のリスクが高い人について
高齢者は水分量が少なく熱中症になりやすい
病歴のある人も熱中症のリスクが高い
認知症の高齢者は水分摂取をしたことを忘れたりする







4月18日 ニコニコBOX報告 前原 郷 委員

(メールにても投函を受け付けております。ご利用下さい。)

(敬称略)

西山秀木・小林健郎・田野隆広 熊谷市消防長鯨井英明様、警防課長大河原剛様、副課長尾野聰様、本日はようこそお越し下さいました。日頃より地域安全にご尽力頂きありがとうございます。卓話よろしくお願いします。

松崎邦夫・井上 浩 熊谷市消防長鯨井英明様、本日は、ようこそ熊谷RCにお越し下さいました。消防、救急等のお話しをお聞かせ下さい。宜しくお願い致します。

松本光弘 今年の夏も又暑くなりそうですね。秋、春が恋しいですね。

小林 肇 本日は消防本部の消防長鯨井様、警防課の大河原様・尾野様にはお忙しいところようこそ熊谷RCへお越し下さいました。流通センターでは毎年防災訓練にお手伝いを頂きありがとうございます。何度訓練してもAEDは身についていないかなあ…。

福島良浩 消防長の鯨井様ようこそ熊谷RCへ。消防は安心・安全の要。災害や異常気象で大変ご苦労されている事と思います。今日のお話、とても楽しみにしています。

田野隆広 明日、33回目の結婚記念日を迎えます。今日気づけて良かったです。ありがとうございます。

斎藤邦裕・石山洋一 今日の卓話も実演があるのですね。熊谷市消防本部鯨井様のお話、楽しみにしています。

5月2日(金) 休会

9日(金) 第11回理事会 通常例会 例会場 東京海上日動ビル5階